　『春はあけぼの』

準備するもの　教科書　２５ページ～２７ページ

◎　『秋』を読んでみよう。（　）があるところは、（　）のところを読もう！

　秋は夕暮れ。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（チコ）

　夕日のさして　　山の端　　いと近うなりたるに、　　烏の、　　寝どころへ行くとて、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（エ）　　（ワ）

三つ四つ、　　二つ三つなど　　飛び急ぐさへ　　あはれなり。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（オ）

　まいて、　　雁などの　つらねたるが、　　いと小さく見ゆるは、　　いとをかし。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ね　　　　　　　　　　　（ウ）

　日入りはてて、　　風の音、　　虫の音など、　　はたいふべきにあらず。

　（　１　）筆者は『秋』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましょう。

◎　『冬』を読んでみよう。（　）があるところは、（　）のところを読もう！

冬はつとめて

　　　　　　　　　　　　　（ウ）

　雪の降りたるは、　　いふべきにあらず。　　霜のいと白きも、　　またさらでも、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　も　　わた

いと寒きに、　　火など急ぎおここして、　　炭持て渡るも、　　いとつきづきし。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　おけ

　昼になりて、　　ぬるく　　ゆるびもていけば、　　火桶の火も、　　白き灰がらになりて　　わろし。

　（　１　）筆者は『冬』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましょう。

◎わたしの「枕草子」を書こう。

（　１　）まずは季節を決めよう。

（　２　）その季節から想像する言葉（言葉マップ）をたくさん書いてみよう。（教科書２７ページを見よう。）

季節

　（　３　）「言葉マップ」の中から選んだ言葉を使って、「私の枕草子」を作ろう。

**書く時のポイント！**

①「夏は○○」のような書き出しだと書きやすい！

②短い言葉で書いてみよう！

③昔の言葉（「をかし」など）を使ってみよう！

絵を

かいてもOK!